



(上)消防団による生き埋め車両からの救出訓練

1/28



(上)広島市消防局ヘリによる孤立集落からの救出訓練

(下)市、大竹警察署、消防団、自主防災会による避難訓練



**災害には  
連携して対処**

晴海臨海公園

昨年3月に発生し、多くの尊い人命が失われるなど、未曾有の大災害となった東日本大震災。このような大規模な地震の発生を想定し、1月28日に、晴海臨海公園で防災訓練が行われた。

当日は消防や警察のほか、多くの機関が参加して、いざという災害のときに連携して動くことができるよう、避難訓練や救出訓練が行われた。



(上)紙芝居で思いやりの心を知ってもらおう【玖波保育所】

1/24



(上)人権擁護委員による紙芝居【なかはま保育所】

1/17

**紙芝居で  
思いやりの心を**

市内保育所

紙芝居で思いやりの心を知ってもらおうと、なかはま保育所、玖波保育所、知恩保育園で、人権擁護委員が紙芝居を披露した。

元気にあいさつをして、いろいろ話をしていた子どもたちも、紙芝居が始まるとみるみる話に引き込まれていった。そして最後には、嘘をつかず、友達を大切にすることをみんなが誓っていた。



(上)紙芝居の世界に引き込まれる【玖波保育所】



(左)KENあゆみちゃんとう握手【知恩保育園】



(上)デザインの審査をしてもらうため、たこを審査員に見せる



(右)走りながら、上手にたこをコントロールしていく

(下)風があまりないなか、最初はとにかくがんばって走る

2/5

**もっと上へ、もっと高く  
風が笑顔運んでくる**

子どもたちが自分で作ったたこをあげる、手作りたこあげ大会が、晴海臨海公園で開催された。当日は、最初は風があまりなかったが、子供たちはスタートと同時に元気に走り出し、空高くたこをあげていた。参加者の福田達瑛くん(5歳)は、「大会ではうまくあがらなかったけど、後でうまくあげることができた。楽しかったです。」と話してくれた。

晴海臨海公園



(上)勤労青少年ホームの巨大たこを大会参加者も一緒になってあげる。巨大たこは、見事空を飛んだ



(上)焼きカキの前には、開会前から長蛇の列ができた



プリプリでアツアツのカキは格別



(下)谷和神楽団による迫力満点の演舞

また、ステージでは神楽や歌謡ショー、広島東洋カープの選手によるトークショーなども行われた。

**大竹の冬は楽しい  
だってカキがあるから**

晴海臨海公園



大竹の冬の楽しみ、カキ水産まつりが、県西部で先頭を切って開催された。当日は市内外から約200,000人が訪れ、会場は大賑わいとなった。カキの無料試食には長い行列ができ、焼き立てで熱々のカキを渡されると、みんなおいしそうに頬張っていた。